

第7回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- 放送日 令和7年9月16日(火)、9月30日(火)
- テーマ 「諏訪湖創生ビジョン」について
- 出演者 諏訪地域振興局 企画振興課 土屋 良介(つちや りょうすけ)
- シナリオ

(Q) 諏訪湖畔も爽やかな風が吹き抜ける時期となりました。10月1日は「諏訪湖の日」だそうですが、これはいつ制定されたのですか。

(A) はい、令和元年になります。平成30年に「諏訪湖創生ビジョン」を策定して官民協働で推進している「諏訪湖創生ビジョン推進会議」で制定しました。

(Q) 「諏訪湖の日」を制定したのはなぜですか？

(A) かつての諏訪湖は、水質の急激な悪化によって、緑色のアオコですとかユスリカが大量に発生し、大きな問題となっていた時期がありました。

現在は地域の皆さんの努力や、下水道の整備によって、泳ぐことができるほど水質は改善されてきています。

その一方で、諏訪湖がきれいになるにつれ、湖に対する関心が下がっているのではないかといった声も聞かれています。また、最近では、ヒシなどの水草が大量発生したり、河川からの土砂流入によって諏訪湖が浅くなり水上アクティビティへの支障がでているといった新しい課題も発生しています。こういった課題を地域一体となって解決することが求められるようになってきたというのが一番の理由です。

(Q) 美しく、また親しめる湖を守り続けるということは、簡単にできることではないですね。

(A) そうですね。そこで、諏訪湖創生ビジョンが掲げる「人と生き物が共存し、誰もが訪れたい諏訪湖」をめざして、より多くの方が諏訪湖に関心を持ち、それぞれができることに取り組んだり親しんだりするきっかけとなるよう、諏訪湖の日を制定しました。

(Q) なるほど、そのような経過があったのですね。なぜ10月1日なのでしょう？

(A) はい、水質の改善には、下水道の整備が大変重要な役割を果たしてきたのですが、実は約40年前の昭和54年10月1日が、諏訪湖流域下水道の一部供用を開始した日なんです。諏訪湖浄化に第1歩を踏み出した記念すべき日ということで、10月1

日になりました。

(Q) 「諏訪湖の日」にあわせて、「諏訪湖の日プロジェクト」という企画があるそうですね。

(A) はい。10月1日だけでなく、概ね9月～10月に行われる、諏訪湖に関連した取組を「諏訪湖の日プロジェクト」として、集中的に情報発信しています。今年も様々な企業・団体の皆様が企画を考えてくださっています。

(Q) なるほど。どのような企画があるのでしょうか？

(A) はい、9月27日土曜日には、豊田終末処理場、通称クリーンレイク諏訪にて「2025クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」が開催されます。諏訪湖流域下水道の役割や下水道整備の重要性等について、地域住民の方々に理解を深めていただくために開催していますが、今年は来場者の方にマンホールカードをプレゼントします。

また、10月5日日曜日には昨年開所した諏訪湖環境研究センターにて「諏訪湖環境研究センター施設公開」が開催されます。常設展示に加え、諏訪湖創生ビジョン沖野会長の講演、研究成果の発表会、調査船に乗って諏訪湖の調査、試験研究室の見学ツアー、プランクトンやマイクロプラスチックの観察など盛りだくさんの内容で施設公開を行います。

どちらのイベントもお子さんからご年配の方まで楽しめる内容となっていますので、是非お越し下さい。

その他にもたくさんの企画がございますが、詳しくは長野県諏訪地域振興局の「諏訪湖の日」ホームページに掲載している「諏訪湖の日ガイドブック」をご覧ください。このイベントを通じて地域の方はもちろん、県内外の方々にも諏訪湖を訪れていただき、皆さんの思い思いの方法で、諏訪湖に親しんでいただきたいと思います。